

# 200歳万歳!

## 雲の上に木を植える

今後、果たすべき役割に気づき、会社をやめたのは、今から二五年前、五〇歳の時だった。すぐに「排泄」を中心テーマに「健康サロン」を始めた。シンプルで効果も大きかったからだろうか、まもなくたっさんの方に利用していただけるようになった。

この頃「ふと」などの直感が天からの信号だと気づいた今となつては、つくづく天に育てられたのだと思う。

奇跡的な治癒も「体の中にいろいろなゴミが溜まるから病気になる。ゴミを出せばよい。簡単ですよ」とほとんど口で病気を治すようなことをしていた。

事実、話しているうちに「体が熱くなった」と言い出す人が何人も出るから、言葉のエネルギーに治療効果があるのは間違いないようだ。ただ、効果の大部分は、サロンに設備した「加圧療法器」によつて与えられたと考えている。パーツを体に装着し、使用すると、血液の循環がよくなり、すぐに体表面の温度が二〜三度上昇する。さらにすばらしいのは、二〜三〇分でリラックスし、瞑想状態になることだ。脳波を計るとアルファ波、シーター波が出ている。瞑想状態になれば、脳から調和の信号が出るので、自力で元気になることができる。失敗の事例も、「少し違った提案の仕方ならいい結果が出たかもしれない」と後悔するのが常だった。専門家でもないのにと、今では反省しきりだ。

十五年前、たけ炭を焼き始めてすぐに、

病気は治るもので、治すものではないと気づいた。病気とは「オシッコに行きたいのだけれど、トイレの場所がわからず困っている状態」だと考えてみた。頼まれればご案内も行うが、ご本人に代わつてオシッコをして差し上げることはできない。

たけ炭に出会つて、それまでの六十年間は、たけ炭学校に入学するための予備校だったと感じられるほど、たけ炭の効果は不思議です。

痛いところに炭をのせておくと、短時間で痛みは解消する。体の近くにたけ炭があると、免疫力が上がる。特に、地鎮祭の竹の作り出す「結界」の中心から出る素粒子に気がついてからは、究極の提案ができるようになった。

「結界マット」に寝ると、瞬時に背骨が真っすぐになり、自律神経は正しく働くようになる。基礎体温も上がり、あちこちに結界を作っておき、ご案内すれば、説得もいらす、いつの間にか元気になってもらえ、人知れずお役に立つことができる。お部屋、教室、その他、どこにでも「結界域」を作ることができる。

十年以上前から言い続けている「雲の上に木を植える」という、空中の炭酸ガスを減らす提案を取り上げてくれた『てんつくマン』によつて、二〇〇五年から内モンゴル植林が始まった。結界によつて砂漠に雨が降る不思議、三回目、四回目とも重篤なガンの人が六日間で治つてしまった。

たけ炭粉と鉄粉や、粘土を丸め焼いて鉄炭レンガにし、海に投げると海は簡単に再

生することができる。ヘドロが無くなった。海藻が増えた。貝や魚がたくさん取れるようになった。北極海の資源の豊富さは、黄砂によつて連続的に供給される鉄による。内モンゴルで撒かれたたけ炭粉も、鉄炭材としてこれに参加するはずだ。

「地球を丸ごとおこしたい」というとんでもない希望も、そんなに遠くない将来、実現するかも知れない。

追伸…カンボジアから年賀状が届きました。  
「竹炭は村の人の神様になりました」



### プロフィール 新野めぐみ

1934年、新潟県刈羽郡二田村生まれ。  
1985年、自分の氏名を新しいフィールドの恵と気づき、中国電力を退社。サクセス・アイ設立。代表取締役役に就任。翌年テクノストレス研究所開設。健康指導開始。1993年頃から竹炭を焼き始め、竹炭窯の開発と用途の研究を開始。1998年「雲の上に木を植える」を提唱。2005年から内モンゴルの砂漠に埋炭による結界と植林をして草などの生育の相違を確認、目に見えない自然の法則を実証。健康・環境・農業など多方面にわたり問題解決を提案している。

株式会社サクセス・アイ

〒755-0051 山口県宇部市上町2-1-17

Tel.0836-34-3630 Fax.0836-33-7643



# 特集

## 絹の話 2

絹は、5000年前中国で作られ、シルクロードを伝ってヨーロッパに伝わり、金と取引されました。それほど高価なものであったわけです。クレオパトラも絹のシルクを好んだと伝えられます。

日本にも中国から絹が伝わってきました。戦前までは、絹工業が盛んだったものですが、戦後、絹が外国から安く入るようになると、絹の工場は次々と閉鎖され、それに伴って、蚕が繭を作るために食べる桑の木を栽培することは、すっかり廃れてしまいました。

昔は、桑の木があちこちにあつたものです。桑の木は電磁波を吸収する働きがあり、雷を地に流す働きがあつて、雷雨の時は、人は桑の木の下にかけこんだものです。

その桑の木の葉を原料として出来る繭製品、つまりシルクには電磁波を吸収し、除去する力が強いのです。

シルクは18種のアミノ酸を含み、人の皮膚に近い組成をしています。そこで、絹でできた下着を身につけると汗をよく吸収し、しかも放出する力が強く、木綿の肌着よりも、もっと速く汗を乾かしてしまいます。木綿の肌着の3分の2の速さで乾くのです。

シルクの包帯をすると、傷がすぐ治ります。皮膚病にもよく、アトピーの人が化繊の下着を着ると、静電気が起きてかゆくなり、かくと、ますます静電気が起きて、悪循環に悩まされます。化繊の下着は、そのように電磁波を放出するどころか、逆にプラスの静電気を生みだしてしまうのです。普通の化繊の下着を身につけていると、脱ぐ時にパチパチ音がします。その時は、3000ボルトの静電気が発生しているのです。

それを毎日繰り返しているのですから、皮膚に良いわけがありません。ところがシルクの下着にすると、シルクには、「マイナスイオン」、「静電気」を中和する働きがあり、皮膚の静電気も吸収除去する働きがあるので、すっきりとした肌着になります。

しかも、シルクの下着は、強く一生使えるので、高価なように思いますが、決して高くはないのです。

昔、明治のころ、日本で絹織物業が盛んであつた時、高価であるにもかかわらず、ヨーロッパの人がしきりに買い求めました。理由は、軍人たちの肌着にするためです。木綿の肌着ではシラミ、のみがつくの、シルクの肌着をつけていると、しらみ、のみがわかないのです。

絹は非常に軽く、しかも温かく、放出性があつて、しかも紫外線を吸収し、放出する働きもあるので、ご婦人たちが自分の美と健康を守るには、木綿製品の肌着を身につけるよりも、絹製品の肌着を身につける方がはるかによい

です。シルクの肌着は、健康と若さを保つのによいのです。

シルクのスーツは軽いし、肌着は直接身につけていると、血管の老化を防ぎます。だから、もつともつと利用されるべきものです。

膝の痛みや手首の痛みには、絹のサポーターをすると痛みが消えます。しかも、その後、痛みは発症しなくなります。高齢女性で膝に水が溜まり、病院に行つてよく診てもらつていた人が、膝に絹のサポーターを巻くと、水が溜まらなくなり、消えてしまつて、通院することがなくなりました。

膝の痛みは、関節液を保護しているタンパク質が活性酸素で破壊されて痛むと考えられますが、絹は活性酸素を除去するので、その痛みを消す働きがあるので、肩こりにもシルクの肌着が勧められます。肩こりもまた、活性酸素によつて起こるものと考えられるからです。

すべての病気は活性酸素が原因なのです。その活性酸素を消す力のあるシルクは、もつともつと重要視されるべきです。難病である癌の対策にも、あるいは動脈硬化、リュウマチ、アルツハイマー症、パーキンソン病等、原因は、活性酸素であることが多いのです。絹の肌着を身につけていると、活性酸素を除くので、急速に回復されます。

前立腺癌も絹布を厚めにその部位に前張り式にして、腰で結ぶようにするとよいのです。喘息や気管支炎にも、絹布を胸部に当ててい



ると喘息が治まり、気管支炎がよくなる等の効能があるといわれています。

シルクの靴下は、最高のプレゼントになります。水虫などは消えてしまいますから、おまけに肌がつやつやして、足がきれいになります。夜寝る時には、シルクのアイマスクをしましょう。すると、翌朝かすみも感じなくなる。白内障の人がアイマスクをして寝ると、新聞が見えるようになったとか。花粉症対策には、シルクマスクがよいのです。

お茶は、緑繭茶があります。このお茶を飲んでみると、うつ病が2か月で消えた、更年期障害が急速に改善された、驚く話は奥歯がはえてきたなどという話があるのです。緑繭茶は、タンパク質が圧倒的に多い健康食品で、生体機能を回復し、高齢者が飲み続けると、若い人の肌と近い肌になり、細胞壁が健全化して、なんと水をはねかえすようになって高齢の肌でも水玉ができるようになった、という話もあります。

まゆ製品のお問い合わせ先  
(あまのはしだてサロン)  
TEL. 0120-22-8830

絹わたふとんについてのお問い合わせ先  
株式会社 川島  
TEL. 0277-97-2211

## トピックス

### 人間の歴史

#### 人間とはいかなる存在か

人間は、もともと霊的な存在なのです。なのに物質的存在と思っているのが問題です。人間は魂としての存在で、この世に生まれてきた時に、心と肉体という衣装をまといまいます。地上に生まれてきて、人は神なる存在のあり方を学び、そして創造主のもとへやがて返っていくのです。輪廻転生がもともと創造主の計画なのです。

この創造的行為がなされたのは、1050万年前のことです。このような人類のあり方が、エドガー・ケイシー、ジュアル・クール、ルース・モンゴメリーなどのチャネリングによって伝えられています。これらのチャネリングは、チャネリングの対象(チャネラー)や、情報源は異なるのに、基本的にほとんどよく似通っています。人間の歴史は、このようなチャネリング情報によって明かされているのです。

これらの情報によると、最初、人間の寿命は1000年と定められていました(旧約聖書によれば、アダムは930歳、メトセラは969歳、ノアは950歳まで生きたとあります。ノアが、大洪水の時、はこぶねを作ったのは600歳で、その後350年生きたといわれます)。人間の歴史は、アダムとイヴの話によって伝えられています。

すが、アダムは最初に作られた完成された人種だったのです。アダムは神が作った初めての息子だったのです。

最初の頃の人間は、アーキタイプ(元型的)人種と呼ばれます。その身体は、本質的には、気体の性質をおびていました。それが次第に物質化していったのです。

地上の陸地は始めは北極だけで、他は海でした。今は6,000年サイクル、12,000年サイクル、36,000年サイクルが、ちょうど完了しようとしている時期なのです。その中に1000年サイクルがあり、1000年サイクルの終わりは1995年〜2000年の間でした。

人間は、レムリア人としての存在だった時期があります。それは人類の第三期時代で、レムリア人は霊的で、哲学的人類でした。その後にはアトランティス人としての時期があり、アトランティス人は、科学的で技術的に大きな進歩を遂げました。

この時期、地上には巨大な恐竜が徘徊していました。そのためレムリア人は、全面的に地下生活をしていたものです。食料採取以外には、恐竜を避けて洞窟内に暮らしていて、その時の名残が、芸術性の高い洞窟内の壁画などとして残っているのです。

レムリア人は小さくて、男性で152cm前後、女性はそれより5〜8cm低かったものだと言います。食料は基本的に木の実や果実を主食としていました。



アトランティスは大西洋の北部にあり、ヨーロッパとロシアを合わせたくらいの広さがありました。当時は、アメリカはほとんど海面下にあり、東部海岸線がアトランティス大陸の海岸付近の定位置を形成していました。

アトランティス人は、恐竜から身を守るために、都市の周囲に巨壁をはりめぐらせました。当時の最先端技術にはクリスタル、光、音が用いられていました。紀元前52,000年に、恐竜を滅ぼす計画が実行され始め、効を奏しはじめていました。

でも、そのため三度にわたる地殻大変動が起きることになったのです。最初の大変動は50,700年前頃と伝わります。恐竜撲滅のための化学物質や、起爆性物質が原因となり、洞窟内の無数の空隙に、たまったガスが爆発し、火山の爆発や地震を引き起こしたのです。それが地球の地軸と極を現在の形にし、最後の氷河期をもたらしました。レムリア大陸は完全に崩壊し、アトランティス大陸は一部は水没し、一部は残りました。アトランティスは非常に発達したテクノロジを持っていましたが、霊的、精神的には成熟した文明ではありませんでした。地球外の生命体がアトランティスを訪れ、クリスタルによる高度なテクノロジを伝えたときれています。

当時、アトランティスはクリスタルエネルギーを主としたエネルギーを用いていました。大陸全体に巨大なクリスタルがあつて主要エネルギー源となつていたのです。車、船、潜水艇、飛行機など

に、必要なエネルギーをすべてクリスタルが供給していました。

科学の発達とともに、アトランティス人は物質的になり、神の存在に次第に興味を失っていきました。そうして、紀元前28,000年、エネルギー光線を地殻に貫通させるために、巨大クリスタルをとおうとしたことが原因で、前代未聞の大爆発が起こり、アトランティス大陸は水没し、三つの島を残すのみとなりました。この出来事がノアの方舟、大洪水の物語として、聖書の中に語られているのです。

この大災害のあと、アトランティス再建が試みられましたが、洪水前の繁栄を取り戻すことはありませんでした。当時、電気や原子力や太陽エネルギーの動力化はとて進歩を遂げていましたが、紀元前10,700年頃のアトランティス人は、精神的に低劣さを極め、モラルは底を失っていました。そのために優れた文化を滅ぼしてしまつたのです。

紀元前9,500年頃、大規模な地殻変動が地軸を動かし、アトランティス大陸は完全に消え去つてしまいました。当時の大爆発は、広島の原爆の100万倍だといわれています。

神と予言者の声を常に耳にしていた、注意していた一部の忠実なアトランティス人は、この災禍の起きる前に、すでに避難していました。そうして、エジプト、ユカタン半島、北部アメリカに逃げ、それがマヤ族、イロクオイ族(北米先住民)として残つたのです。それらの文明でピラミッドが建

立されました。ピラミッドにはアトランティス文明の影響が見られるのです。

アトランティスにまつわるすべての秘密は、エジプトの大ピラミッドの「記録の間」に安置され、神祕な方法によつて、今も護持されているといえます。アメリカ人の霊能者でチャネラーのポール・ソロモンは、それらの情報を全面的に開放する人物「ピエアルのジョン」が現れると言い、ピエアルのジョンはキリストの弟子「最愛の人ヨハネ」の生まれ変わりだとしています。

人間の歴史は、このようなチャネラーによつて伝えられています。それらのチャネリングによると、人はもともと霊的な存在で、植物と同様に、光(太陽エネルギー)のみを栄養として暮らしていたものだそうです。人体の仕組みの中に、今もその仕組みがあり、人類は2012年に次元上昇をしてライトボティになると、最近よく言われるようになってきているのです。

アメリカのノーマ・ミラノビッチ博士は「アルクトウルス 未来からの記憶」という著書の中で、100年以内に人間は神の光のみで生きるようになるだろうと言っています。今、地上の多くの人が、宇宙の気のエネルギーにアクセスし、それを呼吸することによつて直接細胞の中に取り込む能力を開発することを試みているのです。

人間の体の中には、もともと光のシステムがあり、瞑想・呼吸などのトレーニングによつて、細胞構造の中の光の保有率を高めれば、そういったことが可能になるのです。アメリカのストーン博士

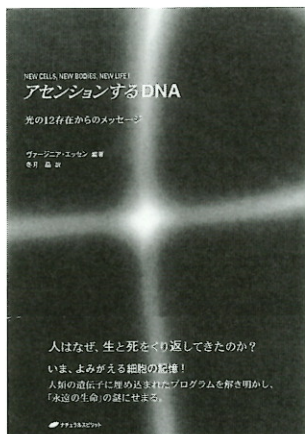


は、光の保有率を80〜83%に高めれば、人間はアセンション(次元上昇)を可能にし、96〜98%に高めれば、非物質化、再物質化を可能にすると言っています。

人類は今、そのようなアセンション(不老)を可能にする、大変な激動の時代にさしかかっているのです。そうして、事実光のみによって生きる人たちが、世界的に少しずつ広がりつつあるのです。

### 参考文献

「神々の食べ物 聖なる栄養とは何か」 ジャスムヒーン著/ナチュラルスピリット社  
 「リヴィング・オン・ライト」ジャスムヒーン著/ナチュラルスピリット社  
 「アセンションするDNA」ヴァージニア・エッセン著/ナチュラルスピリット社



## 健康情報 1

### 「超植物」ステビア

ステビアという植物があります。南米パラグアイが原産地です。ステビアは、はじめ清涼飲料水やケーキなどに天然甘味料として使われていました。砂糖の300倍の甘みがあり、かつノンカロリーだといわれて、日本にも昭和40年代の半ばに移入されることになったのです。今ではステビア飲料、ステビア野菜、ステビア米などとして知られ、ダイオキシンを分解したり、大腸菌0・157やエイズ菌を殺菌する強力なパワーがあることも突き止められました。21世紀の人類と地球を救う「超植物」の登場です。

ステビアを使った農産物も登場し、各種野菜、果物、米などの栽培にも幅広く利用され、甘みがアップする、収穫量が増加する、日持ちが良いなどの効果があつて、普及が進んでいます。

ステビアは抗酸化力が強く、日本のどこでも生産できるので、ステビアによる地域おこしも行われています。ステビアは日本の農業と経済、人の健康や地域環境を救う21世紀の、人類の救世主となりうる植物といわれるほどのです。

ステビアは抽出発酵液として、広く全国各地で用いられています。熊本県ではみかん園に用いられて、みかんの樹が活性化し、みかんの品質を良くしています。糖度・食味・日持ちなどが驚異的にアップするのです。ステビアの抽出発酵液を

みかんの樹の根本に撒くと、樹がどれも根を縦横に大きく伸ばします。樹そのものが元気になるだけでなく、実の数がとても多くなります。ステビアみかんの糖度は、デコポンで16〜17で、従来の栽培のもの比べ、3〜4度も高く、収穫量は平均の2〜4倍にもなるのです。

健康面でみてみましょう。ステビアエキスを摂ることで、死地から脱出したという報告がいろいろあります。死期を宣告されていたのに、ステビアで治ったという感動の報告が相次いでいるのです。ただし、ステビアが単独で治ったというのではなく、いろいろな治療に合わせ、用いられての効果だと考えてほしいということです。

岩手県の62歳の主婦は、ステビアエキスを2か月摂り続け、肺がんの進行がストップしたそうです。飲み始めて2、3日経つと、顔に赤みがさしてきて、2週間後顔色がはつきりわかるように改善され、全身のたるさが次第に影をひそめ、体調が良くなり、元気が湧いてくるようになりました。2か月後の検診で、「がんの進行が止まっている」と医師に言われたそうです。

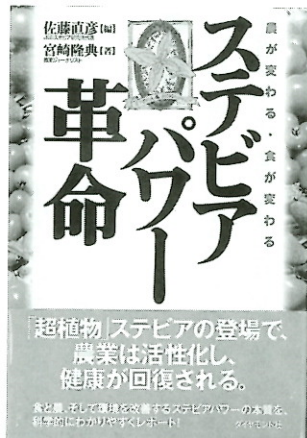
京都の会社のY社長は、糖尿病を長い間わずらっていました。ステビアエキスを知り、薬だけでは効かなかったのに、ステビアエキスを併用することで、社長業を引退しなくてはならないのではと、半ばかんねんしていた糖尿病を、ついに克服できてしまったそうです。

がんとともに現代の三大死因にあげられる脳卒中と心筋梗塞についても、ステビアで治ったとい



う報告がいつばい届いているそうです。人類が意図せずにつけてしまった最強、最悪の毒物ダイオキシンさえも、ステビアは解毒する力があるといわれます。HIVさえも殺菌する能力があるといえます。

日本でも、海外でもステビアによる町おこし、村おこしが進んでいます。ステビアを栽培し、ステビア抽出液を作る工場を作ったり、あるいはステビア抽出液を利用することによってステビア栽培を行い、農作物の品質を良くして市場にだすことで、農産物の売上価格が上昇するのです。青森県のある町は、町長の一声で、ステビアを使った農業おこしをはじめ、成果をあげているそうです。ステビアで、農薬やダイオキシンなどで毒まみれになった農地が、100年前の土地に復活されるのです。



出典『ステビアパワー革命』宮崎隆典著／ダイアモント社

## 健康情報 2

### マグマンというサプリメント

マグマンというサプリメントのことをご存知でしょうか？ マグマンは植物ミネラルサプリメントです。鶴見隆史というお医者さんは、薬を使わない医師として知られています。食を正す、意識を正す、ライフスタイルを正す、その三つで病気を驚くほど良くなると言われるのです。

薬は使わなくても、サプリメントは使われます。サプリメントは薬ではありません。人体に不足しているものを補う栄養素なのです。先生のところでは最高のサプリメントを使っていますが、その中でも最高のものがマグマンだと言われるのです。

マグマンは20%原液の濃度の高いものです。直に飲むことはしません。200mlの水に2〜15滴たらしめて飲みます。昔から、胃が悪くて少し困っていた先生が、マグマンを水に薄めて飲んだところ、長年の胃炎や腸炎がすっかり治って驚いてしまいました。

そこで、家族や患者さんにも使い始めたところ、とてもよい効果が見られるようになったのです。マグマンは、まず炎症を強力に消す力があります。そこで口内炎、歯周病、痔、胃炎、胆肝炎、大腸炎、皮膚炎、結膜炎、肺炎、にきび、食道炎といった炎症によく効くのです。

殺菌効果も強く、酵素を活性化する働きもあります。免疫を活性化し、全身の80%といわれ

る腸管粘膜免疫を高める力があるので、小腸の状態を大幅に改善します。マグマンの免疫活性化作用には、ガンを消す力もあるようです。

病院から「もうやることはない」と最後通告を受けた大腸癌、肝転移の症状を持つ64歳の女性が、先生の病院に来院。マグマンを摂り、食生活を正したところ、なんと2か月できわめてよく体調を改善されたそうです。

認知症予防にも役立ちます。脳の動脈硬化を防ぐので、認知症になりにくくなるのです。鳥インフルエンザの大流行が懸念されていますが、マグマンを一日に何十回も水にといて飲んでいれば心配ないのではないかと、それほどマグマンはウイルス感染にも強いと言われるのです。

マグマンはほとんどオールマイティーといってもよいほどだと鶴見先生は言っておられます。マグマンはBIE(生物無機栄養素)としても知られています。マグマンを開発したのは、植物ミネラルマグマ研究所の所長中山栄基さんです。中山さんには『自分の体は自分で治せる』という著書があります。生物ミネラルのことを書いた本です。

マグマンは植物ミネラルマグマ研究所から出されています。ハイパワーマグマン(液状タイプ)は50mlで10,500円(税込)で販売されています。粒状タイプのマグマンは165粒で15,750円です。

マグマンについてのお問い合わせ先

赤木洋祐

メールアドレス sakagi@ares.eonet.ne.jp

TEL&FAX: 072-843-11808



## 良書推薦コーナー

『生命素発見』小林原圭著／文芸社／

1,155円（税込）

生きとし、生けるものは太陽エネルギーによって生かされています。太陽エネルギーは、量子力学では「光エネルギー量子」と呼ばれています。生命エネルギーが光となって凝縮されたものを生命素と呼びます。生命素は植物の緑に凝縮され、蛍光物質として存在することがわかっています。蛍光物質は、暗室で紫外線にかざすと、真紅の蛍光を発します。

生命素は蛍光物質という形で自然の中に無尽蔵にあります。普通、人間はこれを直接に摂り入れることはなかなか難しく、食物を通して間接的に摂り入れています。でも、これを直に摂り入れるとどうでしょう。人の体に与えるインパクトは大変なものです。老衰しかかっている体に生命素を直接に摂り入れると、直ちに生命力を呼び起こす「回生」の働きがあります。

人は生命素によって癒され、生かされるのです。生命素には、生命の再構築の働きがあるのです。

植物の葉に含まれる緑の色素を葉緑素といいます。葉緑素は太陽のエネルギーを生命素として含んでいるのです。葉緑素は植物の葉の葉緑体と呼ばれる微粒子の中に、たんぱく質とリポイドと呼ばれる類脂質にはさまれて、サンド

ウィッチのように存在しています。この葉緑素をたんぱく質とリポイドから切り離して、裸にする作業は非常に難しいことで、世界の学者たちの多くが試みて、匙を投げてしまったといわくがあります。

葉緑素は純粋な形にすればするほど、その捉えている太陽エネルギーは、抽出過程でどこへやら消えてしまい、ただの緑に過ぎないものとなってしまうのです。結局葉緑素は、いろいろな夾雑物と一緒に「葉緑体」の形でしか用いることができなかったのです。

ところが、ここに「生命素」というサプリメント（栄養食品）があるので、この生命素にはこれまで知られているビタミンCやEよりはるかに強力な抗酸化の働きがあります。「生命素」は裸の葉緑素なのです。

葉緑素の研究は、17世紀の中ごろから、フランスの植物学者エドム・マリオットによって始められ、リヒャルト・ウィルシュテターは、葉緑素と血色素が同じものがあることを発見してノーベル賞を与えられました。

それ以来、動物の生命素となる物質を得るための葉緑素研究に拍車が一層かかることになりました。けれども、葉緑素のたんぱく質、類脂質との結合（重合）はとても固く、植物が必死にガードして、人智の介入をどうしてもゆるしてくれなかったのです。

その固いガードがついにとかれる日がきました。柳澤研究所所長の柳澤漫氏が、50年の研

究の結果ついに分離に成功したのです。

「生命素」は極めて少量の摂取でたります。毎日摂る必要はなく、3日に一回わずか1gの摂取でたり、しかも起死回生の働きがあります。生命を再構築する働きがあるので、未来永劫これにとつてかわるものは現れないだろうと、「生命素発見」の著者で、医師の小林原圭先生は言います。

「生命素」がいかにすばらしい生命回生の働きがあるか、この本に書かれている一例を紹介しましょう。

ある日、小林先生のもとに白髪混じりの老婦人が訪れて、主人が老衰して「もう終わりだ」と言っている。「入院は嫌がってしたが、りません」と言います。「連れていらつしやい。来てくれさえすれば、すぐに元気にしてあげられます。来る時は大変でも、帰る時は楽ですよ」と言う。「それなら連れてきます」と、ご主人を息子さんと一緒に、両脇を抱えるようにして連れてきました。

見ると、本当に危篤寸前の状態でした。話しかけても返事はありません。先生は「大丈夫ですよ。すぐ元気になりますよ」と言って、生命素の粉末1gを患者に与えました。すると、1分と経たないうちに顔に赤みがさし、体温もさつきまで冷たかったのに上昇しています。「これでお帰りは楽ですよ。一人で歩いて帰れますよ」と言うと、付き添いの二人は、信じられない様子です。



二日おいて三日目に奥さんに来てもらいました。「帰りは楽だったでしょう？」と聞くと、「まさかと思いましたが、息子の肩も借りないで帰りました」そして、ご主人が帰るなり、いきなり自転車を持ち出して、そのまま出かけてしまったというのです。すっかり元気な主人に戻ってしまった、とビックリするような話なのです。

もう一つの例を見てみましょう。小学校3年生のIちゃんは、幼児のころから中耳炎があつて、難聴です。そのため、学校の成績も思わしくありません。

Iちゃんのおじいちゃん、おばあちゃんは、「生命素」を愛用しています。病院で、たまたまIちゃんの話をして先生にしたところ、「今のうちに治しておかないと、一生のハンディとなつて可哀想ですよ」という話になり、中耳炎に限らず、慢性の炎症が治らないでるのは、自然治癒力が眠っているからです。中耳炎は、お子さんの体質的弱点から発しているのです。体質的弱点は、虚勞といつて、生命力に乏しい状態です。生命素で虚勞という状態を解消すれば、中耳炎も治ってしまいます。難聴も鼓膜が破れていない限り治ります」という話になって、Iちゃんは、一回に0.15グラムを3日に一度摂るようにしました。

その後、しばらくぶりでおばあちゃんが来院したので、先生がIちゃんの様子を聞いてみると、すっかりよくなつて、耳鼻科の先生から、

「完全によくなったから、もう来なくてよい」と言われたそうです。

何とそうなるのに、三週間も経っていなかったのです。「治つても、もう少し続けると、学校の成績もよくなりますよ」と言うと、Iちゃんのお母さんは、熱心にIちゃんに「生命素」を与え続けました。

Iちゃんは、耳がよくなったので、ピアノを習い始めました。すると、ピアノの先生が言うのです。「Iちゃんは飲み込みが良くて、上達が早いです」

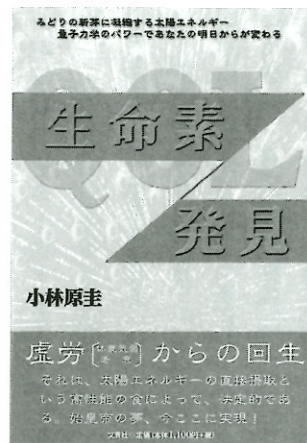
お世辞かな、と思つていたら、小学校の担任の先生からも「Iちゃんは近ごろ勉強もよく覚えるし、運動も活発になりました。耳がよくなったせいでしょう」と言われたそうです。

「生命素」は、病状をよくするだけでなく、誰もが持つている、眠っている能力を呼び覚ます力があるのです。

「生命素」はそれほどすばらしいという話です。生命素で喘息が治り、中耳炎、難聴がよくなり、狭心症がよくなった、慢性肝炎、老人性網膜黄斑部変性症がよくなった、いろいろながんの症状が消えたという実例が、この本にはいくつも紹介してあります。

子どもに摂らせると子どもが変わり、若者に摂らせると若者が変わります。顔が輝き、はつらつとなり、記憶力が良くなり、学校の成績が急上昇するので、親がビックリするという例が非常に多いということです。老人が摂ると、元

気に若返ります。「生命素」は、この上ない免疫力を人に与える力があつて、人を甦らせる力があるようなのです。



編集後記

早いですね。年が明けたと思つたら、もう二月です。

最近、自伝的小説「七海弘志の青春 魂の遍歴」を書き上げました。来月には、出版されると思います。

17歳の少年の魂の遍歴を書いた小説です。自伝的小説ですので、七田眞の青春がほとんどそのまま語られています。心の若返りのために、皆様にも、ぜひ読んでいただきたいと願っています。

【発行人】

七田 眞

【発行所】

「200歳まで生きる会」

〒695-0011 島根県江津市江津町527-15

☎0855-5215301

FAX 0855-5215797